

事業名称	賑わいある交流拠点の整備		
寄附目標額	40,000千円	古河市総合計画の位置付け	4 - 2 - 2
事業区分	地域の特性を活かした、仕事をつくる事業		
関連するSDGs			
			
現在抱えている課題	<p>本市では2000年をピークに人口減少局面に突入し、その状況は現在も続いている。人口減少は地域力の低下に直結するため早急な対応が求められる。また、H28年 RESASによると、市内消費額約5,380億円のうち2,440億円(45%)が市外流出しており、この数値は全国約1800自治体のうち1710位という極めて低い数値である。このことから、人口減の抑制と地域内消費額の向上は喫緊の課題である。</p>		
プロジェクトの概要及びポイント	<p>大堤エリア約17haにおいて『地域未来投資促進法』を活用し、官民連携により、市内外から人が集まる環境づくりを進め、新たな賑わいづくりの拠点整備を推進する。具体的には、「商業機能」や「産業交流機能」を充実させたエリアとして整備する。</p>		
目指す将来像	<p>本エリアを商業機能や産業交流機能を充実させたエリアとして整備することで、市内外から人が集まるエリアが形成され、市の魅力度向上に繋がる。これにより、人口減少の抑制と地域内消費額の向上を図る。</p>		
事業担当課	プロジェクト推進課		